演習 I

科目ナンバリング　SEM-301
必修　　2単位

工藤　芽衣

1. 授業の概要（ねらい）

現在、欧州連合(EU)には27カ国が参加しています。しかし、異なる背景を持つ諸国が、一つの共通の政策のために結束することは容易ではないため、設立以来何度も「危機」を繰り返しています。また、EUに加盟しない選択をした国や、EUから離脱したイギリスなどもあり、地理的には「ヨーロッパ」で一括りにされても、それぞれの国には異なる政策の優先順位があります。

そこでこの授業ではEU加盟・非加盟のヨーロッパ諸国の社会・政治・歴史などを調べ、各国の共通点や違いを比較しながら、それぞれの国とEUの共通政策との関係、EUに参加することの利益や不利益が何かを学びます。

毎回の授業の進め方：

・あらかじめ指定された資料や文献を読みます。担当者が当日の内容の要約を発表し、その後全員で意見交換や疑問点の指摘などをして理解を深めます。

2. 授業の到達目標

①関心のある地域や国における経済政策の特徴、政治と社会、政治、歴史について他者にわかりやすく説明することができる。

②調べたことに基づいて、疑問点を指摘したり、自分なりの意見を述べることができる。

3. 成績評価の方法および基準

ディスカッションへの貢献度（30%）+課題（10%）+レポート（60%）

4. 教科書・参考文献

教科書

使用する文献は参加者と相談の上決定する。

5. 準備学修の内容

予習は必ず行う。特に報告者は、資料や文献を解説するだけでなく、質問を受けそうなこと（語句や簡単な内容の説明）を予測し、そのことについて調べて準備しておくこと。報告が担当でない回にも、資料や文献を読んで質問や論点を準備しておく。

6. その他履修上の注意事項

最低6割以上の出席が必要。

7. 授業内容

【第1回】　導入（授業の概要、参加者の問題関心の共有、進め方の説明、文献の決定など）
【第2回】　ヨーロッパ諸国の社会政治制度・歴史①フランス：資料・文献に基づく報告、意見交換
【第3回】　ヨーロッパ諸国の社会政治制度・歴史②ドイツ：資料・文献に基づく報告、意見交換
【第4回】　ヨーロッパ諸国の社会政治制度・歴史③イギリス：資料・文献に基づく報告、意見交換
【第5回】　ヨーロッパ諸国の社会政治制度・歴史④参加者が関心を持つ国：資料・文献に基づく報告、意見交換
【第6回】　ヨーロッパ諸国の社会政治制度・歴史⑤参加者が関心を持つ国：資料・文献に基づく報告、意見交換
【第7回】　社会政治制度・歴史の比較とまとめ
【第8回】　ヨーロッパ諸国の経済政策①フランス：資料・文献に基づく報告・意見交換
【第9回】　ヨーロッパ諸国の経済政策②ドイツ：資料・文献に基づく報告・意見交換
【第10回】　ヨーロッパ諸国の経済政策③イギリス：資料・文献に基づく報告・意見交換
【第11回】　ヨーロッパ諸国の経済政策④参加者が関心を持つ国：資料・文献に基づく報告・意見交換
【第12回】　ヨーロッパ諸国の経済政策⑤参加者が関心を持つ国：資料・文献に基づく報告・意見交換
【第13回】　経済政策の比較とまとめ
【第14回】　レポート作成の準備（オンデマンド）
【第15回】　まとめとレポート作成の準備